

地域活性化アイデア創作活動事業
『僕たちの街の紹介マップ作り』

～Welcome to Makuhari New Urban Center Area～

千葉市では、幕張新都心に勤務する外国人の方など、家族で幕張新都心に居住している外国人や新たに家族で居住することになった外国人のお子さんに対して、地元の子どもの手作りによる幕張新都心の英語版案内マップ(遊ぶと面白い公園・遊具、お気に入りの場所、駄菓子屋など)を作成することとしました。英訳には神田外語大学の学生が協力してくれました。

1 主 催

千葉市、社団法人発明協会

2 協 力

神田外語大学、株式会社フォルム

3 開催日時

平成 23 年 11 月 19 日、12 月 3・10 日、
平成 24 年 1 月 7 日 各土曜日 13:00～16:00

4 開催場所

神田外語大学(11/19)、打瀬公民館

5 講師

起業教育ネットワーク東北 代表 渡邊忠彦 先生

6 対象

打瀬小学校、海浜打瀬小学校、美浜打瀬小学校などの小学 4～6 年生 18 名



1 日目

■ 開講式 ■

今回の講座は、社団法人発明協会が全国で展開している地域活性化アイデア創作活動事業の一環で行われるもので、千葉市としても神田外語大学と株式会社フォルムとの協力という、産学官連携による講座開催として画期的なものとなりました。

当日はあいにくの雨天となってしまいましたが、学校行事が重なっていない子ども達全員が参加してくれました。

開講式は、まず、子ども達の自己紹介から始まり、スタッフの紹介がなされました。なかなか緊張が解けない様子でしたが、講師の起業教育ネットワーク東北 代表 渡邊先生が、元教育関係者と言うこともあり、子ども達も自然に自分たちの意見を発表するなど和やかな雰囲気になりました。

■ ミッション ■

次に、千葉市経済企画課から、今回の講座の目的、最終的なミッションについて説明しました。

「幕張新都心は国際都市と位置付けられ、勤務する外国人の方や若葉住宅地区の分譲などによる外国人の居住者が、ますます増えることが予想されます。家族で幕張新都心に居を構える外国人や家族・友人を尋ねて幕張新都心を訪れる外国人の子息に対して、遊ぶと面白い公園・遊具、お気に入りの場所、駄菓子屋などの地図を作成して欲しい。そして、幕張新都心を好きになってもらいたいと考えています。英語表記については、神田外語大学の学生さんが、各グループについているので心配ありません。また、地図作りについては、幕張新都心にあり、デザイン業界で活躍している株式会社フォルム様のご協力をいただき、1日目と3日目に来ていただけることになっています。」

途中、ブラジルからの神田外語大学の留学生マルシオさんとテロエルさんが、日本にきて困っていることなどについてお話がありました。



■ 地図ってなんだろう ■

次に、株式会社フォルムの若林さんから会社の説明があり、本多さんからマップづくりについての説明がありました。

どんな地図があるのか、目的に合った地図をつくるには「使う人の立場に立った情報提供が必要なこと」「写真は周辺の風景と一緒にとり方向や位置情報も折り込むこと」「誘導するためには道路の太さを変えたりする工夫も良いこと」などを具体的な事例をふんだんに使い説明してもらいました。



■ 会社の設立とグループワーク ■

次に会社設立のためのグループ分けです。今回の講座参加者は、打瀬地区の三小学校の子どもたちなので、グループ分けは自主的に3グループに分かれてもらいました。

その後、別室に移り、社長の選出と組織作りです。社長-副社長-社員だったり、社長-編集長-書記-カメラマンだったりと会社ごとに組織が違います。そして、会社名の決定です。様々な意見の中、次のように決めました。

- ① 会社名 F OトリプルK会社
- ② 会社名 Makuhari Guide book
- ③ 会社名 幕張マップ出版社
- ④ 会社名 Bay Lovers (保護者グループ)

会社名が決まったら、早速、編集会議です。外国の子ども達に何を伝えたいか、どんな施設が紹介できるだろうか、困っていることはどんなことだろうか…神田外語大学の学生を交え活発な意見交換がなされました。

留学生のテロエルさんにインタビューしたり、候補をピックアップし次回の取材行程の計画を作りました。

また、保護者のグループも立ち上がりました。実際にベイタウンで生活して得られた外国人の方の意見や留学生のマルシオさんを引き込み、積極的な情報交換がなされました。「宗教上の理由で食べられないものがある」「菜食主義の方もいる」…英語などでメニューや食材の内容を表記していたり、これらのリクエストに対応できるレストランを紹介したら喜ばれるのではないかなど。

あっという間の3時間でした。最後に、グループごとに会社名の発表と次回の取材方針を報告して終わりです。

